# トイレのおそうじ

### Toilet

トイレは「汚れになる前にそうじをする」 ことが大切。使うたびに、

手の届く範囲をサッとひとふきしたり、 水を流しながらトイレブラシでこすったりを 習慣にしてしまいましょう。

特にこぼれた小水は、

乾いてしまうと悪臭の元になるので、 すぐふき取ってください。



# 75n

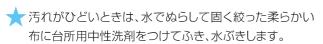
# ウォシュレット。



柔らかい布、綿棒、歯ブラシ、台所用中性洗剤

#### <ウォシュレット本体>

- 水でぬらして固く絞った柔らかい布 で便座の表面をふきます。
- 同様に便ふたの表裏と便座の裏側を ふきます。





#### <便座・便ふたのすき間>

便座とウォシュレット本体の間は小水が入り込んで黄ばんだ 汚れがつき、悪臭の原因になりやすいところです。 時間があ るときには外してそうじしましょう。

- 便座・便ふた着脱で取り外します(取り 外し方・つけ方は取扱説明書をご覧く ださい。商品によっては便座を取り外 せません)。
- 水でぬらして固く絞った柔らかい布に台所用中性洗剤をつけてふき、水 ぶきします。細かいところは、綿棒を 使います。





#### **<ノズル>**

- ノズルおそうじ機能付のものは、電源を入れて「ノズルそ うじ入/切」スイッチを押し、ノズルを出します。
- 通常は水ぶきで十分。汚れがひどい ときは、水でぬらして固く絞った柔ら かい布に台所用中性洗剤をつけてふ き、水ぶきをします。
- スイッチを押してノズルを収納します。

#### <脱臭フィルター>

- 電源プラグを抜き、脱臭フィルターを取り外します(取り外し方・つけ方は取扱説明書をご覧ください)。
- 通常は歯ブラシなどで水洗いし、取り付け前に水気を取ります。
- 脱臭フィルターを取り付け、プラグを差込みます。
- ★ 汚れや目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。交換部品については、取扱説明書やメーカーホームページよりご確認ください。







柔らかい布、スポンジ、トイレ用ブラシ、靴用ブラシ、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)

- 中性洗剤をブラシにつけ、内側とフチ裏をこすり洗いします。届きにくい場合 は 戦用ブラシで、傷つけないようにやさしく洗います。
- 水でぬらして固く絞った布に、中性洗剤をつけてフチの裏側をふきます。
- トイレ用ブラシやスポンジでこすり洗いしたのち水洗いします。
- ★ 水あかなどひどい汚れの場合、汚れがついた部分の水分をふき取り、トイレ用中性洗剤を汚れに直接かけます。トイレ用ブラシやスポンジでこすり洗いしたのち、水洗いします。
- ★ 吐水口まわりが汚れた場合は、歯ブラシなどでこすり洗いしてください。



#### ! 注意

便器そうじに使った 洗剤が、ウォシュレット(プラスチック 部)についてしまっ たときは、水でぬら して固く絞った柔ら かい布でしっかりふ き取ってください。



## 手洗い・水栓金具









柔らかい布、スポンジ、歯ブラシ、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)、きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナ-

- 表面に付着しているホコリやゴミをタンク内に落とさないように取り 除きます。
- スポンジなどで水洗いをします。
- ★ 水あかなどひどい汚れの場合、止水栓を閉めて、タンク本体から手洗い 鉢を外します。汚れがついた部分の水分をふき取り、トイレ用中性洗剤 を汚れに直接かけトイレ用ブラシやスポンジでこすり洗いしたのち水洗

いします。手洗い鉢をタンク 本体に取り付け、最後に止 水栓を開けてください。







#### ! 注意

- ●手洗い鉢を外してお手入れする場合は、お手入れする前に必ず 止水栓を閉めてください。止水栓を閉めないで作業をすると機 外に漏水する可能性があります。
- ●タンク本体に手洗い鉢を取り付けたまま作業を実施するとタン ク内にトイレ用中性洗剤が入り、内部部品を傷め故障の原因に なることがあります。
- ●トイレ用中性洗剤がタンク内に入ってしまったときは、便器洗浄操作により、タンクの水を入替えてください。そのままにしておくとタンクの内部部品を傷め、故障の原因になることがあります。
- ●特に酸性・アルカリ性洗剤はタンクの内部部品を傷め、故障の 原因になる可能性が非常に高くなりますので、タンク内には入れないようにしてください。



# 床







柔らかい布、洗剤つきウェットペーパー、割り箸に布を巻いたもの、住宅用中性洗剤

小水がこぼれたものが乾くと悪臭の元になるので、こまめにチェックするようにしましょう。

- 洗剤つきウェットペーパーか水でぬらして固く 絞った布に中性洗剤をつけたものでふきます。
- 割り箸に布を巻いたもので、便器と床のすき間の汚れや水分を取り除きます。
- ▲がきし、からぶきします。



### ! 注意

- ●ウォシュレットやウォームレットには、電子部品が入っているので水をかけるのは厳禁です。
- ●プラスチック素材が使われているため、酸性やアルカリ性の洗剤でふくと割れるおそれがあります。
- ●乾いた布でふかないでください。便座・便ふたなどの表面に傷がつく原因になります。また、 静電気でホコリを吸い寄せてしまいます。
- ●ノズルの先端を無理に引っ張り回したりしないようにしてください。

### Help!

### 便器に黄ばみや輪ジミができてしまった!







靴用ブラシ、割り箸に布を巻いたもの、キッチンペーパー、 トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)

- 洗面器などに中性洗剤を入れ、キッチンペーパーをひたし、汚れの部分に張りつけて3分おきます。 ウォシュレットにはつけないように注意してください。
- ペーパーをはずして、 ブラシでこすり洗いし、 洗剤成分を流します。



落ちないときは、割り箸に布を巻いたものに中性洗剤をつけて、少しずつこすって落とし、仕上げに水を流します。